

# 基本施策29 まちなかの活性化

## 現況と課題

モータリゼーション（自動車が生活必需品として普及すること）の進展や郊外型大型店舗の出店、まちなかの居住人口の減少、消費者ニーズの多様化等の影響により、まちなかの魅力は大きく低下しています。また、人口減少・超高齢社会という時代の大転換期を迎え、今後は将来を見据えた「持続可能なまちづくり」を目指していく必要があります。都市機能の拡散傾向に歯止めをかけ、多くの人が暮らしやすい、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めていかなければなりません。

まちなかは、多様な都市機能が集積し、公共交通の結節点としての役割も担い、まちの核としての機能を持つ「苦小牧の顔」と考えられます。今後は、「まちなか再生総合プロジェクト（GAP）」に基づき、歩いて暮らせる生活空間としての機能を更に充実させ、まちなか独自の魅力の創造、にぎわいの創出を図る取組を進めていきます。

## 基本目標

「苦小牧の顔」であるまちなか独自の魅力の創造、にぎわいの創出を図り、誰もが安心して暮らせる「人にやさしいまち」、地域の特徴をいかした「誇りと愛着が持てるまち」を目指した、まちづくりを進めていきます。

## 関連する個別計画

- ・まちなか再生総合プロジェクト（GAP）プログラムパート3（平成29～31年度（2017～2019年度））

## 主要施策

### 1 にぎわいの創出

SDGs  
17の目標



施策番号	各種団体や将来のまちづくりの担い手である子ども、若者、子育て世代とともに日常的なにぎわいの創出に努めます。
2512911	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	○子ども・若者まちづくり参加推進事業 (高校生と商店街が連携し、駅前通りやポケットパークの花壇整備やイルミネーション装飾を実施)						
	○子ども・子育て世代まちなか居場所づくり支援事業 (子育て世代のお母さん達の団体「できることからはじめのIPPO-いっぽ-」による、まちなかでのイベント開催などにぎわい創出事業等を実施)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	まちなかの歩行者通行量(平日)	人	20,606	24,560			
	まちなかの歩行者通行量(休日)	人	16,763	16,998			
	公共・公益施設入込数	人	367,645	339,888			
今後の取組の方向性	これまでのCAP各種事業を通して、新たに子ども達や若者、子育て世代などが本市のまちづくりに携わる機会を創出し、今までとは違った形のにぎわいやつながりが生まれました。今後、これらのネットワークを更に発展させ、まちなかへの日常的なにぎわいにつなげるとともに、苦小牧の顔であるまちなかに対する新たな誇りや愛着を育てる取組を進めていきます。						

# 1 にぎわいの創出

SDGs  
17の目標



施策番号	苦小牧市まちなか交流センター（通称COCOTOMA：ココトマ）やまちなか交流館といった既存の拠点施設や商店街との連携、ネットワークによる人の流れづくりに取り組みます。
2512912	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>○COCOTOMA（ココトマ）の管理運営 （各種イベントの開催、東胆振の食材を使ったメニューの提供等）</p> <p>○まちなか交流館連携事業 （まちなかスタンプコレクション、まちなか交流館での読み聞かせ・ライブイベントの開催）</p> <p>○まちゼミ（得する街のゼミナール）開催支援事業 （開催期間：9月26日～10月30日、開催講座数：21店舗39講座、受講人数：238人）</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	まちなかの歩行者通行量（平日）	人	20,606	24,560			
	まちなかの歩行者通行量（休日）	人	16,763	16,998			
	公共・公益施設入込数	人	367,645	339,888			
今後の取組の方向性	<p>ココトマを幅広い世代の人々が集い楽しむ交流拠点と位置付け、まちなかの魅力発信やにぎわい創出を図ります。</p> <p>また、ココトマのほか、まちなか交流館や中心部の商店街店舗を対象とした、スタンプラリーやまちゼミ等を開催することで、まちなかにおける市民の周遊を促すとともに、個店のPRを行い、日常的なにぎわい創出につなげます。</p>						

# 2 公共交通の利便性の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	まちなかにおける公共交通の利便性の向上を目指すため、各種事業者と連携し、若者の発想やアイデアをいかした魅力づくりに取り組み、課題の解決、利用者満足度の向上に努めます。
2512921	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>公共交通の利用促進策として、バス事業者及び市内高校等が連携してギャラリーバスを運行することから、市の後援及び各種媒体で周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019たなばたギャラリーバス（樽前小、美園小）</li> <li>・総経スノーメリークリスバス、苦看メリークリスバス</li> <li>・明德小学校ありがとうギャラリーバス</li> <li>・ふたば幼稚園ひなまつり号</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	利用者満足度（市立病院港町循環線）	%	51	58			
今後の取組の方向性	<p>現在実施している事業の継続と更なる事業展開に向けて、バス事業者等と協議しながら、まちなかの活性化に向けた事業を推進します。</p>						

### 3 まちなか居住の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	様々な都市機能が集積しているまちなかに暮らしやすい生活空間の整備を進めます。
2512931	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>○まちなか居住支援事業 (まちなかに良質な住宅の供給及びストックの形成等を図るため、CAP対象区域に賃貸住宅を建設する法人に対し、1戸あたり100万円を助成) ・R1年度実績：1棟9戸×100万円=900万円の補助金を交付</p> <p>○まちなか居住ニーズ調査事業 (本事業に対する不動産事業者の意向や課題、現状等の把握のため、ニーズ調査を実施)</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	まちなか居住人口	人	5,887	5,844			
今後の取組の方向性	<p>持続可能でコンパクトなまちづくり実現のため、まちなかに、生活者にとって暮らしやすい生活空間の整備を進め、多様な居住ニーズに対応した住宅の供給を行っていく必要があります。今後も不動産事業者や金融機関等のニーズ調査を行い、効果的な事業を実施していきます。</p>						

# 基本施策30 居住環境の充実

## 現況と課題

公営住宅については、道内主要都市と比較して高い供給量にある一方で、老朽化が進んでいる状況にあります。人口減少や少子高齢化の進行、財政状況を鑑み、建替えや既存ストックの長寿命化を図りながら、管理戸数の適正化を進める必要があります。

民間住宅については、リフォームに対する需要が高く、今後もリフォーム支援を継続していく必要があります。

空き家については、管理不全により周辺環境や地域住民へ悪影響が出てきている事例がみられ、その対策は喫緊の課題となっています。空き家数や管理状態把握を行い、啓発活動による空き家化の予防や安全対策など、空き家等対策を推進していく必要があります。

公園・緑地の整備については、道路緑化の推進などにより、良好な緑化環境が整ってきています。一方、ニーズの多様化によりユニバーサルデザインや防災機能に配慮した施設整備を行うとともに、老朽化施設の計画的な改築・更新を図っていく必要があります。

## 基本目標

公営住宅の整備・改善及び適正な管理戸数の確保を行うほか、民間住宅のリフォームや耐震改修等の支援を行います。また、管理不全状態の空き家等所有者に対して適切な管理を促し、地域環境の保全を図るとともに、空き家化の予防や解消に努めます。さらに、公園・緑地を核として、海・山・丘陵地、河川や道路を活用し、緑のネットワークの強化を図るほか、高齢者や障がい者を始め、誰もが安全・安心に利用できる公園・緑地の整備を進めます。

## 関連する個別計画

- ・ 苫小牧市営住宅整備計画
- ・ 苫小牧市営住宅長寿命化計画
- ・ 苫小牧市住生活基本計画
- ・ 社会資本総合整備計画
- ・ 緑の基本計画

## 主要施策

### 1 公営住宅の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	老朽化している公営住宅の建替えや既存ストックの長寿命化を図り、適正な管理戸数の確保に努めます。
2513011	

担当部・課	都市建設部 住宅課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日新町市営住宅 (新10号棟) の新築工事 (1/2年目)</li> <li>・ 日新町市営住宅 (4-11-13) の緑化工事</li> <li>・ 日新町市営住宅 (4-11-1, 2, 4) の解体工事</li> <li>・ 日新町市営住宅 (4-11-1, 2, 4) の給排水設備閉止工事</li> <li>・ 日新町市営住宅 (新9号棟) の新築実施設計</li> <li>・ 日新団地建替事業に係る入居者移転</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	市営住宅管理戸数	戸	7,113	7,009			
今後の取組の方向性	<p>第6次基本計画では、苫小牧市営住宅整備計画等の個別計画に基づき、時代の変化に応じた住宅供給を推進していきます。</p> <p>多様な家族構成に適応した規模・設備の住宅供給を目指すとともに、財政状況を鑑みつつ、長寿命化を図るべき住宅と建替え・用途廃止を実施すべき住宅を適切に選定し、今後の管理戸数の適正化に取り組んでいきます。</p>						

## 1 公営住宅の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	居住の快適性、安全性の向上を図るとともに、高齢者や障がい者の居住環境に配慮します。
2513012	

担当部・課	都市建設部 住宅課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>○既存住宅の長寿命化に資する改善工事及び設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大成町市営住宅(1-9-1)西面外部等改修工事 他6棟の外部等の改修工事を実施</li> <li>・住吉町市営住宅(2-3-1)のエレベータ改修工事を実施</li> <li>・青葉町市営住宅(1-4-1)ほか2棟の外部等改修工事実施設計を実施</li> </ul> <p>○東開町市営住宅(6-1-20)ほか134棟の火災報知設備取替業務を実施</p> <p>○車椅子専用住戸の設置やユニバーサルデザインを導入した日新新10号棟の建設着手</p>
評価指標 (事業実績)	<p>既存住宅の改修・修繕は、老朽化の程度による優先度や財政状況等により変動する可能性があることから、評価指標を設定することができませんが、令和元年度の取組については、上記のとおりです。</p>
今後の取組の方向性	<p>第6次基本計画では、苫小牧市営住宅整備計画等の個別計画に基づき、時代の変化に応じた住宅供給を推進していきます。</p> <p>誰もが安心・安全な環境で暮らせるように、財政状況を鑑みつつ、既存住宅の計画的な維持管理を行い、利便性の向上を図っていきます。</p>

## 2 民間住宅支援

SDGs  
17の目標



施策番号	市民の住宅リフォームを支援する住宅耐震・リフォーム支援事業を推進します。
2513021	

担当部・課	都市建設部 建築指導課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・住宅耐震・リフォーム支援事業の実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	住宅耐震・リフォーム支援事業の利用件数	件	71	85			
今後の取組の方向性	住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、地域経済への波及効果も大きいことから、今後も事業の継続を検討します。						

### 3 空き家対策

SDGs  
17の目標



施策番号	市内全域における空き家数や、周辺地域に与える危険性の有無などの実態把握を行い、今後の空き家化の予防や解消を図っていくなど、空き家等対策を推進していきます。
2513031	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部有識者で構成される空家等対策委員会の開催</li> <li>庁内関係部署で組織される空き家対策連絡会議の開催</li> <li>市民から相談が寄せられる空家等相談について所有者に対する適正管理の依頼</li> <li>空家等解体補助金の創設</li> <li>空き家啓発パンフレットの作成</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	空家等対策委員会	回	3	3			
	空家等相談	件	106	92			
今後の取組の方向性	<p>人口減少社会を迎える中で、空家等対策は継続的な実施が必要になることから、苫小牧市空家等対策計画に基づいた具体的な空き家対策を行う必要があります。</p> <p>また、外部有識者で構成される空家等対策委員会の中で、意見や助言を頂きながら、地域の安全安心に暮らせるまちの実現のため、実効性のある空き家対策を推進していきます。</p>						

### 4 公園・緑地の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出するため、市民の憩いやコミュニティ活動などの場として、地域ニーズや利用形態に配慮するとともに、バリアフリー化や防災機能を備え、高齢者や障がい者を始め、誰もが安全・安心に利用できる公園・緑地を整備します。
2513041	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園トイレのバリアフリー化と園路整備を実施（4公園）</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	公園トイレのバリアフリー化	か所	12	4			
	園路の整備	か所	12	4			
今後の取組の方向性	<p>今後も、公園施設のバリアフリー化を実施していきます。</p>						

#### 4 公園・緑地の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	老朽化した施設の計画的な改築・更新により長寿命化を図るとともに、機能充実させることで誰もが利用しやすく親しみやすい都市空間として計画的にリニューアル整備します。
2513042	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園のリニューアル整備の実施</li> <li>老朽化した遊具などを更新</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	リニューアル公園数	か所	12	4			
	老朽化した遊具などの更新	か所	15	10			
今後の取組の方向性	今後も、老朽化した公園施設の更新や適正な維持管理を実施していきます。						

#### 4 公園・緑地の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	周辺環境の変化や利用状況に応じた、特色ある公園づくりと適正配置を図ります。
2513043	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園のリニューアル整備に際し、こどもの利用状況（年齢層）や、近隣の公園に設置されている遊具の対象年齢、種類を考慮</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	リニューアル公園数	か所	12	4			
今後の取組の方向性	公園の規模や場所、利用状況に応じた公園整備に努めていきます。						

#### 4 公園・緑地の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	運動施設の中心地であり、また、自然ともふれあえる緑ヶ丘公園は、四季を通してスポーツやレクリエーションを楽しめる公園として整備します。
2513044	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・サッカー場の夜間照明設備を整備
評価指標 (事業実績)	関係部局と連携して取り組んでおり、個別に評価指標を設定することができません。
今後の取組の方向性	四季を通してスポーツやレクリエーションを楽しめる公園として、関係部局と連携して取組を進めるとともに、適正な維持管理に努めていきます。

#### 4 公園・緑地の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	貴重な自然であるウトナイ緑地は、保全を図ることを基本に、市民が親しめる大規模緑地として利用します。
2513045	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	E (反映区分の選択になじまないもの)
-------	-------------	------	------------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	令和元年度は具体的な取組を実施しませんでした。
評価指標 (事業実績)	関係部局と連携して取り組む必要があり、個別に評価指標を設定することができません。
今後の取組の方向性	ウトナイ緑地の在り方について関係部局と連携を図りながら検討していきます。

## 5 緑化の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	花と緑にあふれた色彩豊かな街並みを創出するため、錦大沼公園内にあるハナショウブ園を整備するとともに、企業・団体など、ボランティアと連携して維持管理を行います。
2513051	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・地域住民や緑化団体によるサクラや花壇の維持管理ボランティア						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ボランティア活動の実施		継続	継続			
今後の取組の方向性	花と緑にあふれた色彩豊かな街並みを創出するため、企業・団体などのボランティアと連携した維持管理を図っていきます。						

## 5 緑化の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	緑化の取組に対する支援のため、町内会等による植樹イベントや花壇整備に対し、花苗・資材の現物支給や植樹帯への花の植え付けに対する助成などにより、緑化活動を促します。
2513052	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・町内会等への緑化資材提供 ・市民団体による緑化活動への助成						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	資材の提供と緑化活動への助成		継続	継続			
今後の取組の方向性	緑化を推進するため、町内会や市民団体に対し資材提供や助成を行っていきます。						

## 5 緑化の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	街路・緑地帯の景観を改善するとともに、大木化した樹木の支障枝による交通障害や落葉による清掃の軽減を図るため剪定を行うなど、適正な樹木の維持管理を行います。
2513053	

担当部・課	都市建設部 緑地公園課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生垣刈込 (延べ約234km)</li> <li>・ 樹木剪定 (774本)</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	適正な樹木の維持管理		継続	継続			
今後の取組の方向性	景観と市民の安全安心を守るため、樹木維持管理方針を基に、適正な樹木の維持管理に努めていきます。						

# 基本施策31 上水道の整備・健全な維持管理

## 現況と課題

水道事業は今、事業を取り巻く大きな環境変化により一つの転換期を迎えています。これまで拡張を繰り返してきた事業は、水需要量の減少や人口減少の影響により、施設を維持・更新する時代へと変わり、また近年、これまでの常識を覆すような災害が発生するなど、水道事業者は今後起こりうるあらゆる可能性を考え、より厳しい事態に備える必要があります。

しかし、このような施設更新や災害対策事業に多額の費用が必要となることに反して、給水収益は減少を続けています。今後は、より厳しい経営環境において様々な課題に向き合っていかなければならず、一層の効率化を進めるなど経営基盤を強化する必要があります。

## 基本目標

新たに策定した「水道ビジョン」の基本理念を念頭に、水道事業の経営基盤の安定化を図り、安全でおいしい水を次世代へ継承する取組に努めます。

## 関連する個別計画

- ・新水道ビジョン実施計画

## 主要施策

### 1 新水道ビジョンの推進

SDGs  
17の目標



施策番号	新水道ビジョンに沿った事業展開により、基本理念である「いつでも・どこでも・おいしい水・未来へつなぐ苦小牧の水道」を実現するため、水道ビジョンの進捗管理を行い、事業推進に努めます。
2513111	

担当部・課	上下水道部 水道整備課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道サービスの持続の確保（老朽化施設の更新）</li> <li>・安全な水道の確保（安全な水の確保のための整備）</li> <li>・強靱な水道の確保（応急給水体制の充実、水道施設の耐震化、重要給水ルートの耐震化）</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	水道ビジョンの進捗率	%	12.8	16.6			
今後の取組の方向性	<p>これまで人口が増加し、拡張事業を繰り返すという環境で発展してきた水道事業ですが、今後予測されている給水人口の減少に伴う水需要の縮小という、これまでと相反する環境で水道事業をどう維持していくかが、重要になっていきます。</p> <p>新水道ビジョンの基本理念である「いつでも・どこでも・おいしい水・未来へつなぐ苦小牧の水道」を実現するため、新水道ビジョンで示した実現方策を確実に遂行することで、水道事業の持続を図っていきます。</p>						

## 2 施設の老朽化対策

SDGs 17の目標	  
---------------	--

施策番号	水道水の安定的な供給を持続するため、施設の予防保全管理と計画的な施設更新に努めるとともに、水需要量の減少を踏まえた施設規模の適正化を図ります。
2513121	

担当部・課	上下水道部 水道整備課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通鋳鉄管の更新</li> <li>・塩化ビニル管の更新</li> <li>・硬質ポリエチレン管の更新</li> <li>・コンクリート管の更新</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	老朽管更新の進捗率	%	85.21	87.10			
今後の取組の方向性	<p>老朽化が進んでいる脆弱な管路は、耐震性が低く、地震時の断水被害の可能性が高くなります。また、老朽化した水道管から漏水が増えることで有効率の低下も招きます。新水道ビジョンで示した基本施策である、水道サービスの持続の確保をするためにも、優先度に沿った老朽管更新事業を実施していきます。</p>						

## 3 災害対策

SDGs 17の目標	  
---------------	--

施策番号	水道施設の耐震化を推進するとともに、応急給水体制の充実を図るため、実践的な訓練や市民との連携構築など、実効性を高める取組を行います。
2513131	

担当部・課	上下水道部 水道整備課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要水道管の耐震化</li> </ul> <p>なお、R1年度は34.19mの重要水道管（耐震管）が更新されましたが、1,645.1mの重要水道管（非耐震管）が苦東から移管されたため、前年度より指標が低下しました。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	浄水場施設の耐震化率	%	84.2	84.2			
	重要水道管の耐震化率	%	60.9	60.2			
今後の取組の方向性	<p>近年、極めて大きな地震が相次いで発生しており、大規模な断水が社会生活に与える影響の大きさを改めて認識しました。被害を最小限にとどめる対策としては、浄水場施設及び管路施設の耐震化が挙げられます。浄水場の施設については、他の事業とのバランスも見ながら、R9年度までに100%の耐震化を目指します。災害時に重要となる基幹病院や応急給水拠点に至る重要給水ルートについても、耐震化を優先的に進め、新水道ビジョンで示した基本施策である、強靱な水道の確保に向けて、水道施設の耐震化を実施していきます。</p>						

#### 4 事業の健全経営



施策番号	新水道ビジョンによる中長期的な維持・改築需要の増加を考慮した「経営戦略」に基づき、事業の健全経営に努めます。
2513141	

担当部・課	上下水道部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	「施設の老朽化対策」「災害対策」と黒字決算（当年度純利益の計上）を両立させ、「新水道ビジョンの推進」を支える健全経営に努めることができました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	当年度純利益	百万円	151	190			
	累積資金収支	百万円	1,777	1,690			
今後の取組の方向性	施設設備の更新需要が増す中で、累積資金を残しながら新水道ビジョンを推進する、現在の健全経営の取組が今後も継続できるよう、当年度純利益の計上を基本線として財務運営を進めていきます。						

# 基本施策32 下水道の整備・健全な維持管理

## 現況と課題

下水道は、衛生的で快適な市民生活を支え、浸水被害から市街地を守る重要なライフラインであり、本市では昭和27年（1952年）に整備を開始し、今では市街地のほぼ全域に普及しました。

今後は、施設の老朽化に伴う事故や処理機能の停止を未然に防止するため、下水道全体を考慮しながら計画的に維持管理や改築更新を実施する必要があります。

また、全国各地で頻発する集中豪雨や大規模地震など、自然災害から市民の安全・安心な暮らしを守るため、今後も大雨対策や耐震化対策を実施する必要があります。

## 基本目標

安全で快適な市民生活に欠かせない下水道を持続的に確保するため、事業費の平準化やライフサイクルコストの削減を図りながら、計画的に維持管理や改築更新を実施します。

また、継続的に大雨対策や耐震化対策を実施し、安全・安心なまちづくりに努めます。

## 関連する個別計画

- ・ 苫小牧市公共下水道事業計画
- ・ 苫小牧市公共下水道事業長寿命化計画
- ・ 苫小牧市下水道ストックマネジメント計画

## 主要施策

### 1 施設の老朽化対策



施策番号	ストックマネジメント計画及び長寿命化計画に基づき、計画的に点検調査を実施し、リスク評価をしながら効率的に維持管理や改築更新を実施します。
2513211	

担当部・課	上下水道部 下水道計画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	--------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・長寿命化計画に基づき、老朽化が進む管渠の改築更新を実施しました。 開削工法：日の出町外 φ200～φ700 L=3953.70m 更生工法：日の出町外 φ250～φ700 L=1313.54m						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	老朽管の改築・更新済延長	km	7.9	13.2			
今後の取組の方向性	安全・安心で快適な市民生活に欠かせない下水道の流下機能を確保するため、ストックマネジメント計画及び長寿命化計画に基づき、老朽化が進む管渠や下水処理センター、中継ポンプ場機器の点検調査及び改築更新を実施します。						

## 2 災害対策

SDGs  
17の目標



施策番号	浸水被害を軽減するため、大雨対策を実施します。
2513221	

担当部・課	上下水道部 下水道計画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	--------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・10年確率降雨の雨水管整備により、大雨対策を実施しました。 澄川町外 φ200～φ700 L=2480.29m						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	雨水面積整備率	%	74.6	74.7			
今後の取組の方向性	近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、引き続き10年確率降雨の雨水管整備を実施するとともに、浸水シミュレーションに基づく効果的な大雨対策を講じます。						

## 2 災害対策

SDGs  
17の目標



施策番号	地震時に下水道機能を確保するため、耐震化対策を実施します。
2513222	

担当部・課	上下水道部 下水道計画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	--------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・現行の耐震基準に合わせた新設や改築を進め、地震時における下水道の流下機能の向上に努めました。 新設(汚水)：東開町 φ200 L=766.00m (雨水)：澄川町外 φ200～φ700 L=2480.29m 改築(汚水)：日の出町外 φ200～φ700 L=3953.70m						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	下水処理センター・中継ポンプ場の耐震化実施済数	施設	6	6			
	下水道管の耐震化済延長	km	226	234			
今後の取組の方向性	地震時における下水道の流下機能を確保するため、下水道管渠や下水処理センター、中継ポンプ場において、被災時に下水道が有すべき機能(人命、揚水、消毒機能)の優先度や今後の改築事業を考慮し段階的に進めていきます。						

### 3 事業の健全経営



施策番号	ストックマネジメント計画等による中長期的な維持・改築需要の増加を考慮した「経営戦略」に基づき、事業の健全経営に努めます。
2513231	

担当部・課	上下水道部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	「施設の老朽化対策」「災害対策」と黒字決算（当年度純利益の計上）を両立させ、下水道機能の確保を支える健全経営に努めることができました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	当年度純利益	百万円	151	559			
	累積資金収支	百万円	1,777	1,439			
今後の取組の方向性	施設設備の更新需要が増す中で、累積資金を残しながら下水道機能を確保する、現在の健全経営の取組が今後も継続できるよう、当年度純利益の計上を基本線として財務運営を進めていきます。						

# 基本施策33 道路の整備

## 現況と課題

道路は、人や車両を安全・円滑・快適に通行させる交通機能と緑化や景観形成等の空間機能を有し、これまで市政発展や市民生活の向上に大きく寄与してきました。

主要幹線道路は、広域的な交流や物流の活性化などの社会・経済活動を支えるほか、災害時の医療搬送や救援物資を運ぶ「命をつなぐ道」として機能しており、道路整備の促進が一層重要になっています。

また、幹線道路・生活道路は、利便性が高い道路交通網の形成や安全で快適な都市生活の実現に加え、新たな利用ニーズに対応した道路整備が求められています。

さらに、老朽化が進む道路や橋梁(きょうりょう)等を計画的に改築・修繕していく必要があります。

## 基本目標

快適で潤いのある都市生活と、活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たなニーズに配慮しながら促進します。

また、老朽化が進む道路・橋梁(きょうりょう)等の健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通の保全に努めます。

## 関連する個別計画

- ・社会資本総合整備計画（北海道）
- ・道路特定事業計画（北海道開発局・北海道・苫小牧市）
- ・苫小牧市橋梁(きょうりょう)長寿命化修繕計画

## 主要施策

### 1 主要幹線道路の整備

SDGs 17の目標	 
---------------	--

施策番号	国道36号、234号、276号の整備促進を要望していきます。
2523311	

担当部・課	都市建設部 道路河川課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道36号 樽前地区の4車線拡幅整備の促進、市中心部における電線類の地中化の促進（最重点要望事項）</li> <li>・国道234号 沼ノ端跨線橋を含む拡幅整備の促進（最重点要望事項）</li> <li>・国道276号 緑跨線橋の拡幅整備の促進、高丘地区の4車線拡幅整備及び交通安全対策整備の促進（最重点要望事項）</li> </ul>
評価指標 (事業実績)	<p>国道の主要幹線道路整備は、苫小牧市が自ら事業主体となって整備するものではなく、整備促進などの要望を事業主体である国に対して行っていくものであり、評価指標を設定することができませんが、令和元年度の取組についても、引き続き本市における最重点要望事項として国に要望しております。</p>
今後の取組の方向性	<p>今後も引き続き、関係機関である国と連携を図りながら、整備促進や新規着工などの要望活動を継続します。</p>

# 1 主要幹線道路の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	道道苦小牧環状線の整備促進を要望していきます。
2523312	

担当部・課	都市建設部 道路河川課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・ 道道苦小牧環状線の改修
評価指標 (事業実績)	道道の主要幹線道路整備は、苦小牧市が自ら事業主体となって整備するものではなく、整備促進などの要望を事業主体である北海道に対して行っていくものであり、評価指標を設定することができませんが、令和元年度の取組についても、引き続き道道苦小牧環状線の改修や適切な維持管理の要望を行っております。
今後の取組の方向性	今後も引き続き、関係機関である北海道と連携を図りながら、整備促進などの要望活動を継続します。

# 1 主要幹線道路の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	苦小牧～浦河間の高規格道路の早期実現を要望していきます。
2523313	

担当部・課	総合政策部 政策推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	関係自治体と構成する高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会として、国や北海道等への要望活動等を実施しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	他自治体と連携し要望活動を実施	回	1	1			
今後の取組の方向性	胆振・日高地域における広域観光ルートの整備、安全性・高次医療機会の確保、災害時の代替道路の役割等の観点から、日高自動車道の早期整備が必要なため、関係自治体と意見交換や要望活動を実施します。						

## 1 主要幹線道路の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	苦小牧中央インターチェンジの早期完成を要望していきます。		
2523314			
担当部・課	都市建設部 道路河川課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・ 苦小牧中央インターチェンジの設置
評価指標 (事業実績)	インターチェンジの設置は、苦小牧市が自ら事業主体となって整備するものではなく、整備促進などの要望を事業主体である北海道に対して行っていくものであり、評価指標を設定することができませんが、令和元年度の取組についても、引き続き北海道に早期完成の要望を行っております。
今後の取組の方向性	今後も引き続き、関係機関である北海道と連携を図りながら、早期完成の要望活動を継続します。

## 1 主要幹線道路の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	都市計画道路3・1・2 美沢錦岡通、3・2・16 臨海東通、3・1・504 苦小牧厚真通、(仮称) 苦小牧登別通の道道昇格整備を要望していきます。		
2523315			
担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	E (反映区分の選択になじまないもの)

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・道及び関係機関に対する重点要望事項として提出</li> <li>・ 苦小牧地方総合開発期成会の要望事項として提出</li> <li>・ 北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部 用地管理室 維持管理課 (苦小牧出張所経由) へ要望書を提出</li> <li>・ 地元選出北海道議会議員への重点要望事項の説明会の実施</li> </ul>
評価指標 (事業実績)	都市計画道路3・1・2美沢錦岡通、3・2・16臨海東通、3・1・504苦小牧厚真通、(仮称) 苦小牧登別通の道道昇格整備は要望であり、評価指標 (事業実績) を設定することができません。
今後の取組の方向性	都市計画道路3・1・2美沢錦岡通、3・2・16臨海東通、3・1・504苦小牧厚真通、(仮称) 苦小牧登別通の道道昇格整備につきまちは、道道としての整備実現を目指し、市の最重要要望事項として北海道胆振総合振興局へ要望活動をしており、引き続き、実現に向け要望継続してまいりたいと考えております。

## 2 幹線道路・生活道路の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	利便性の高い道路交通網の形成やバリアフリー化など新たな利用ニーズに対応した道路整備を進めます。
2523321	

担当部・課	都市建設部 道路河川課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・未舗装道路の整備						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	道路舗装率(舗装延長/市道延長)	%	85.5	85.9			
今後の取組の方向性	今後も引き続き、未舗装道路の整備促進を図るほか、交通安全対策などにも配慮しながら整備を進めます。						

## 3 道路・橋梁等の改築・修繕

SDGs  
17の目標



施策番号	急速に老朽化する道路や橋梁等を良好な状態に保ち、交通に支障を与えず、安全で円滑な交通を確保するため、改築・修繕を効率的・計画的に進めます。
2523331	

担当部・課	都市建設部 道路河川課、道路維持課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・橋梁の長寿命化 ・舗装道路の改築・修繕						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	修繕橋梁数	橋	8	10			
今後の取組の方向性	今後も、老朽化が進む舗装や道路付属物、橋梁などの改築・修繕、点検などに要する予算が増加することから、効率的・計画的に事業を進め、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、更なる安全・安心な道路交通網の確保に努めてまいります。						

# 基本施策34 公共交通の充実

## 現況と課題

近年のモータリゼーション（自動車が生活必需品として普及すること）の進展や将来人口の減少、少子高齢化など公共交通を取り巻く状況は厳しさを増し、さらには、まちなかの空洞化や郊外型店舗の増加など、生活・交通環境の変化が進みつつあります。このような状況の中で、まちづくりと一体となった効率的で利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成が求められています。

## 基本目標

利用者ニーズに対応した公共交通サービスを提供するとともに、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

## 関連する個別計画

- ・まちなか再生総合プロジェクト（CAP）プログラムパート3

## 主要施策

### 1 市内公共交通の充実

SDGs  
17の目標



施策番号	市内公共交通については、苫小牧市公共交通協議会等で議論を重ね、鉄道、路線バスなどの利用促進及び利便性の向上を図ります。
2523411	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR、バス等の利用促進に向けたポスターの作成及び公共施設、近隣の駅への掲示</li> <li>・ JR沿線地域での利用促進協議会開催</li> <li>・ バスの日イベントやデコレーションバス等、バス事業者や市内高校生などのPR活動参加</li> <li>・ 市内路線と買物施設、医療施設、公共施設を記載したバスマップを作製し、翌年度の時刻表に掲載</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	協議会開催回数	回	5	4			
	利用促進ポスター作成回数	回	3	5			
今後の取組の方向性	公共交通の利用促進及び利便性向上に向けた取組を推進するため、引き続き苫小牧市公共交通協議会やJR沿線会議において議論を重ね、各種施策の実施に努めます。						

# 1 市内公共交通の充実

SDGs  
17の目標




施策番号	市内の公共施設や商業施設と連携した利用者への情報提供など、利用しやすい環境づくりやバス待ち環境改善のため、乗継ポイントとなる交通結節点の整備を促進します。
2523412	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境改善のため、バス待合所の修繕事業を実施</li> <li>・バス事業者と協働の取組として、バスの乗り継ぎ場所などが分かりやすいよう、バス時刻表にバスマップを掲載(全戸配布)</li> <li>・JR苫小牧駅南口階段通路壁面にバス案内図を設置</li> <li>・苫小牧市地域公共交通網形成計画の策定に合わせ、乗り継ぎ利便性に関する調査</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	バス待合所修繕・改修件数	件	4	4			
今後の取組の方向性	バス待合所の修繕事業、バス時刻表へのバスマップ掲載について引き続き実施します。						

# 2 市内公共交通ネットワークの構築

SDGs  
17の目標




施策番号	将来人口の減少や少子高齢化社会に向けて、時代のニーズに適応した効率的で持続性の高い公共交通ネットワーク構築のため、「(仮称)苫小牧市地域公共交通網形成計画」を策定します。
2523421	

担当部・課	総合政策部 まちづくり推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>計画は、R元年度～R2年度の2年間で策定。R元年度は、本市における地域公共交通の問題、課題の整理を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域現況調査 ・公共交通現況調査 ・交通ニーズ把握調査</li> <li>・上位計画・関係計画の整理</li> <li>・将来需要推計</li> <li>・地域公共交通の問題・課題の抽出・整理</li> <li>・苫小牧市公共交通協議会における協議</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	協議会開催回数	回	-	4			
	計画策定進捗状況	%	-	50			
今後の取組の方向性	<p>【令和2年度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 苫小牧市におけるバス路線網再編方向性の整理</li> <li>② バス路線の再編シミュレーションの実施</li> <li>③ 苫小牧市地域公共交通計画(案)の策定</li> </ol>						

# 基本施策35 消防・救急体制の充実

## 現況と課題

近年、地震や台風、集中豪雨等の自然災害が猛威をふるい、市内全域に甚大な被害が生じており、大規模・複雑多様化する災害に的確に対処するための対策を強化・推進する必要があります。しかしながら、耐震性能を確保されていない消防施設や津波浸水エリアに存する消防施設、また、多くの老朽化した消防車両が存在している状況にあります。火災・救急件数は、増加傾向にあり、今後、消防施設の建替えや消防職団員（消防職員及び消防団員）の効率的な運用や職務能力の向上等により、総合的な消防体制の強化が必要となります。

## 基本目標

強固な消防体制を維持するため、消防施設の建替えや老朽化した消防車両等の整備及び火災予防体制の強化、さらに、効率的な消防職団員の運用や職務能力の向上を図り、「安全・安心なまちづくり」を目指します。

## 主要施策

### 1 消防施設、消防車両・資機材及び消防水利の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	耐震性能が確保されていない消防署日新出張所の建替えを行います。
2533511	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・消防署日新出張所庁舎改築工事（主体、機械、電気）						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	庁舎解体工事	%	100	-			
	庁舎建設基本・実施設計	%	100	-			
今後の取組の方向性	庁舎改築工事（主体、機械、電気）						
	関係課と調整を図り、令和元年度中に完成しました。						

## 1 消防施設、消防車両・資機材及び 消防水利の整備

SDGs  
17の目標



施策番号	「消防力の整備指針」に基づき、消防車両や資機材等の充実・整備を行うとともに、「消防水利の基準」に基づき、消防水利の整備を図ります。
2533512	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車両等更新（救急車、消防車）</li> <li>・消防用ホース更新</li> <li>・防火水槽新設（勇払5001号）</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消防車両等更新	台	3	3			
	消防用ホース更新	本	130	130			
	防火水槽新設	基	0	1			
今後の取組の方向性	<p>強固な消防体制を維持するため、今後も継続して老朽化した消防車両や資機材等の整備を図り、消防体制の向上に努めてまいります。</p> <p>消防水利については、消防水利の基準に基づき整備を図るとともに、既存の消防水利についても、耐震化を進めていくなど、より災害に強い整備を図ってまいります。</p>						

## 2 消防職団員の効率的な運用及び 職務能力の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	多様化する災害等に迅速に対応するため、救助技術の向上を図ります。
2533521	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関との合同訓練を実施しました。</li> <li>・救助技術訓練指導会に参加しました。</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	他機関との合同訓練実施	回	7	7			
	救助技術訓練指導会参加	回	1	1			
今後の取組の方向性	<p>多様化する災害に備え、他機関との合同訓練を継続的に実施し、幅広い知識と技術を習得するとともに、救助技術訓練指導会を通して質の高い救助技術の向上を図ってまいります。</p>						

## 2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	大規模・複雑多様化する自然災害や石油コンビナート等の災害に的確に対応するため、消防職員の職務能力の向上を図ります。
2533522	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・石油コンビナート訓練に参加し災害対応の向上を図りました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	石油コンビナート訓練参加（消防職団員）	人	36	53			
今後の取組の方向性	大規模・複雑多様化する災害に備え、他機関との合同訓練を継続的に実施し、幅広い知識と技術の習得を図ってまいります。						

## 2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	再編された消防団組織の強化のため、災害対応能力の向上を図ります。
2533523	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・幹部・新入団研修を行い、消防団組織の強化を図りました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	幹部研修	人	21	20			
	新入団研修	人	17	9			
今後の取組の方向性	消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ってまいります。						

## 2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	緊急消防援助隊登録車両の効率的な運用を図ります。
2533524	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・ 緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練（中止）						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加	回	1	0			
今後の取組の方向性	国家的災害に対応するべく構築された緊急消防援助隊に登録した15車両の取扱いについて、更なる習熟を図るとともに、他消防本部や他機関と連携を取りながら緊急消防援助隊の応援・受援体制の効率的な体制構築を継続して図ってまいります。						

## 2 消防職団員の効率的な運用及び職務能力の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	消防学校や消防大学校への派遣研修を行い、消防職団員の職務能力の向上を図ります。
2533525	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・ 消防学校への派遣研修を行い消防職団員の職務能力の向上を図りました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消防学校派遣研修（消防職団員）	人	22	14			
今後の取組の方向性	消防学校や消防大学校への派遣研修を行い、消防職団員の職務能力の向上を図ります。						

### 3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	石油コンビナート地区を始め、市内各企業の災害事故防止を図るため、自主保安体制の強化を図ります。
2533531	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全なまちづくりを目指すために、各事業所や地域住民と連携し、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を行いました。</li> <li>・石油コンビナート地区を始め、各事業所の災害事故防止を図るため、防災指導を行い、立入検査により危険物施設の維持管理状況の確認及び指導を行いました。また、国からの事故防止等に関する通知・通達を各事業所へ周知、注意喚起を行い、自主保安体制の強化を図りました。</li> <li>・危険物安全週間にあつては、市庁舎での懸垂幕掲示、市ホームページへ啓發文掲載、消防署所に安全週間旗・ポスターを掲示するなど危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を行いました。</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	防災研修会	回	1	0			
今後の取組 の方向性	<p>従来の取組のほか、天災・風水害発生を考慮した危険物施設における保安対策の指導を行い、引き続き災害事故防止体制の強化を図ります。また、各事業所・地域住民に対する危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を行うことで、安心・安全なまちづくりを目指します。</p>						

### 3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	各事業所の災害対策及び消防設備等違反是正対策を推進します。
2533532	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全消会北海道支部道南地区協議会違反是正推進連絡会（苫小牧市）を開催しました。</li> <li>・違反公表制度（苫小牧市火災予防条例）の運用開始に伴い事業所及び住民向けの説明会を開催しました。</li> <li>・消防法令等の違反が認められた防火対象物に対して立入検査を実施し、指摘事項の改善指導、促進又は苫小牧火災予防違反等処理規定に基づき是正を行いました。</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	道支部道南地区協議会推進連絡会	人	20	19			
	違反公表制度説明会	人	130	25			
今後の取組 の方向性	<p>違反是正を適切に行うために必要な知識と技術の習得及び予防業務に関する研修等を企画し人材を育成します。また、予防業務体制の強化を図り、違反対象物を未然に防ぐ取組を検討してまいります。</p>						

### 3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	救急救命講習や訓練・防火指導などの開催を積極的に行い、地域住民による救急・防火などの地域防災力を高めます。
2533533	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・市民に対し救急救命講習を行い救急救命活動の普及を図りました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	救急救命講習	回	102	95			
今後の取組 の方向性	救急救命講習や訓練・防火指導を行い災害事故防止体制の強化を図ります。また、各事業所・地域住民に対し、救急や防火に対する意識の高揚と啓発を行うことで、安心・安全なまちづくりを目指します。						

### 3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	大規模自然災害に備え、企業・地域住民が組織する自主防災組織等と連携した訓練・防災指導などを推進します。
2533534	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・ 苫小牧市総合防災訓練に参加し避難誘導活動や、行方不明者捜索活動を行いました。 ・ 地域防災マスター認定研修会に参加し地域防災リーダーとしての知識を身に付けました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	苫小牧市自主防災組織連合会実務研修会	回	1	-			
	町内会等の施設見学	回	6	-			
	地域防災マスター認定研修会受講者	人	-	11			
今後の取組 の方向性	町内会等を通じ防災意識の向上を図ってまいります。						

### 3 企業・地域住民と連携した地域 防災力の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	住宅用火災警報器の設置推進を行います。
2533535	

担当部・課	消防本部 総務課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な 取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置推進啓発のため住宅防火訪問を実施</li> <li>・維持管理状況の確認及び点検の推進のため戸別訪問を実施</li> <li>・消防主催のイベントにて設置推進及び維持管理広報の実施</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	設置推進訪問件数	件	3,049	3,109			
	維持管理訪問件数	件	237	537			
今後の取組 の方向性	<p>住宅火災による死者数の低減を目的に、全ての住宅に住宅用火災警報器が設置されることが求められます。 全国的に設置数が伸び悩む中、各住宅に足を運び住宅用火災警報器の必要性を粘り強く伝えていきます。 また、適切な維持管理の推進により、安全な暮らしを継続してもらえよう努めていきます。</p>						

# 基本施策36 防災体制の充実

## 現況と課題

一般的に災害は、航空機事故や石油タンク火災などの人的災害と火山噴火、地震、津波や風水害などの自然災害に大別されますが、いずれも本市の災害要因になるものです。

近年の異常気象や東日本大震災など大規模災害の教訓を踏まえ、被害の最小化を主眼とする「減災」の考えに基づき、各種計画やマニュアルの作成・見直しを適宜行うほか、緊急情報発信の強化などに取り組んでいます。

今後、災害対応力を更に強化するため、防災関係機関との連携・情報共有化を進めるとともに、防災訓練の実施などにより、市民一人ひとりの防災に対する意識の向上を図る必要があります。

また、建築物の耐震化を図ることにより、安全性の向上を促進する必要があります。

## 基本目標

防災の最大の目標は、災害から住民の生命や財産を保護することです。そのために多様化する災害に対応することを目的として、防災関係機関や市関係部局、さらには、自主防災組織などの住民組織と連携した総合的な防災体制の確立を図ります。

また、地震等による建築物の被害から市民を守るため、建築物の耐震性能を向上させ、安全・安心な生活を確保することを目指します。

## 関連する個別計画

- ・ 苫小牧市地域防災計画
- ・ 苫小牧市耐震改修促進計画

## 主要施策

### 1 防災体制の整備・充実



施策番号	国や北海道の動向を踏まえて、「苫小牧市地域防災計画」などの各種計画の見直しを進めます。
2533611	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の配備基準等について見直しを行うため苫小牧市地域防災計画を修正しました。</li> <li>・ 平成30年に発生した胆振東部地震を踏まえた地域防災計画の見直し事務に着手するとともに関連するマニュアル等について修正しました。</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	各種計画の見直し		上昇	上昇			
今後の取組の方向性	<p>全国的な地震、土砂災害等の大規模災害の発生を受け、国においても災害対策基本法に基づく防災基本計画について近年の災害対応を踏まえた修正を行うなど、災害対策の見直しが着実に進められており、本市においても被害の最小化を主眼とする「減災」の考え方にに基づき、各種計画やマニュアルの作成・見直しを適宜行い、市民の安全・安心の確保に努めます。</p>						

# 1 防災体制の整備・充実

SDGs  
17の目標



施策番号	「苫小牧市地域防災計画」に基づき、災害種別や地域性を考慮した防災訓練を実施します。
2533612	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	東日本大震災や昨今の社会的状況を踏まえ、大地震の発生を想定し、市・消防機関・学校・警察・自衛隊・その他の防災関係機関、地域住民（自主防災連合会・町内会）やボランティアが一体となった総合防災訓練を実施しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	総合防災訓練参加人数	人	-	400			
	住民避難訓練参加人数	人	64	-			
	社会福祉施設等防災避難訓練参加人数	人	317	-			
今後の取組の方向性	本市における災害対応力を更に強化するため、苫小牧市地域防災計画に基づき、各種災害に着目した防災訓練の実施などにより市民一人ひとりの防災に対する意識の向上に努めます。災害から市民の生命や財産を保護することを基本目標とし、防災関係機関や市関係部局、さらには自主防災組織など地域と連携した総合的な防災体制の確立を図ります。						

# 1 防災体制の整備・充実

SDGs  
17の目標



施策番号	自主防災組織を育成するとともに、一人暮らしの高齢者や障がい者などに対する避難行動要支援者支援対策を推進します。
2533613	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織への活動助成として防災訓練等の経費の2分の1で3万円を上限に、37団体へ982千円の助成金を交付しました。</li> <li>避難行動要支援者対策として、要支援者名簿管理協力町内会の拡大に向け説明会を実施しました。</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	自主防災組織の組織率	%	89.11	90.08			
	避難行動要支援者名簿の提供	町内会	40	43			
今後の取組の方向性	<p>自主防災組織の未結成町内会へ結成支援を引き続き進めるとともに、具体的な活動事例を積極的に紹介するなど、自主防災組織の活動が継続的に実施できるよう活動促進に向けたサポートに努めます。</p> <p>地域における避難支援体制を構築するためには、平常時から支援される人と支援する人の信頼関係を深めておくことが重要です。今後も地域での防災訓練等を通じて、相互にコミュニケーションが図られるようサポートを継続します。</p>						

# 1 防災体制の整備・充実

SDGs  
17の目標



施策番号	防災関係機関相互の情報の共有化と、地域住民への防災情報の提供及び防災に関する出前講座を実施します。
2533614	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座実施（20町内会、25事業所・団体等、計45回、2,731名）</li> <li>・ 苫小牧市民防災講座実施（市民延べ246名）</li> <li>・ 防災メール（登録型）周知カード配布（出前講座等）</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	防災出前講座開催数	回	56	45			
	市民防災講座受講者数	名	219	246			
	防災メール登録者数	名	3,301	3,975			
今後の取組の方向性	<p>住民が迅速に避難行動を取れるよう、様々な媒体を活用し災害情報を迅速かつ的確に伝達する必要があります。</p> <p>この情報を住民が的確に取得することは、安全な避難につながることから、出前講座など様々な機会を捉え普及啓発を図り、地域住民の防災力の強化に努めます。</p>						

# 1 防災体制の整備・充実

SDGs  
17の目標



施策番号	防災フロアを拠点として、防災関係機関の連携を強化するとともに、平常時には地域住民の防災活動や防災教育を進め、防災意識の向上に努めます。
2533615	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合防災訓練実施による防災関係機関との連携訓練や協議（30機関）</li> <li>・ 町内会など地域住民への防災説明会及び出前講座の実施、防災計画等の作成支援（20団体）</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	防災関係機関との連携		上昇	上昇			
	地域住民の防災意識の向上		上昇	上昇			
今後の取組の方向性	<p>災害から市民の生命を守るためには平常時からの備えが重要です。市民の防災意識向上と地域防災力の強化を図るには、防災情報の集積場所である防災フロアを拠点として、防災関係機関との更なる連携強化を図り、災害時の対応を円滑に進めます。</p> <p>また、住民への防災教育を進め自助の向上を図り、地域の防災力の強化につなげ、連携強化された防災関係機関との相互協力の下、地域の安全安心の拡大に努めます。</p>						

# 1 防災体制の整備・充実

SDGs  
17の目標



施策番号	防災行政無線のデジタル化と屋外スピーカーなどの設置場所の拡大により、迅速で確実な情報伝達体制を整備します。
2533616	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	防災行政無線（同報系）デジタル化設計内容 ・携帯通信網システム ・屋外スピーカー : 107基 ・パトライト付スピーカー : 19基（港湾区域） ・ソーラー式スピーカー : 1基（樽前山7合目） ・LPWA送信局 : 31基（ドコモ電波を通信料無料のLPWA電波に変換し送信する装置） ・戸別受信機 : 1万台						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	情報伝達体制の整備		上昇	上昇			
今後の取組の方向性	東日本大震災を契機とした海岸地域への警報や弾道ミサイル発射時のJアラート、さらには北海道胆振東部地震におけるブラックアウト発生時の対応など、安定した情報発信手段の確立のため、全市域へ防災行政無線を整備します。また、災害種別、地域等を考慮し有効な情報発信の方法を検討します。						

# 1 防災体制の整備・充実

SDGs  
17の目標



施策番号	防災備蓄品の整備及び民間事業者等との災害時応援協定の締結を推進します。
2533617	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・備蓄計画に基づく備蓄品（食糧、資機材）の整備 ・災害時応援協定締結（施設協力、役務協力）						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	備蓄品充足率	%	79	90			
	協定締結数	件	55	59			
今後の取組の方向性	食料等の備蓄については、必要数を直ちに整備することは難しいため、交付金等を活用し最低限の備蓄を確保しつつ、民間企業等との応援協定の締結を促進し、災害時における供給体制の強化を図ります。						

## 1 防災体制の整備・充実

SDGs  
17の目標



施策番号	「苫小牧市国民保護計画」に基づく避難計画を作成します。
2533618	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	「国民の保護に関する基本指針」の変更及び北海道国民保護計画の一部変更などを受け、苫小牧市国民保護計画を変更しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	避難計画作成		上昇	上昇			
今後の取組の方向性	市民が有事の際に安全に避難できる計画として、適宜変更修正します。						

## 2 災害の未然防止

SDGs  
17の目標



施策番号	防災関係機関と連携して、石油コンビナートなどへの立入検査を行います。
2533621	

担当部・課	市民生活部 危機管理室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・北海道石油コンビナート等防災本部合同立入検査の実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	立入検査実施数	事業所	4	6			
今後の取組の方向性	災害の未然防止には、平常時からの関係機関との連携を密に行い、いざ災害が発生したならば、速やかに関係機関との災害対応について調整が図れることが重要であることから、今後も積極的に関係機関と連携していきます。						

## 2 災害の未然防止

SDGs  
17の目標



施策番号	「苦小牧市耐震改修促進計画」に基づいて、公共、民間の建物の耐震化を進めます。
2533622	

担当部・課	都市建設部 建築指導課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震改修等補助金交付事業の実施</li> <li>・木造住宅無料耐震診断の実施</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数	件	0	0			
	木造住宅無料耐震診断の利用件数	件	3	1			
今後の取組の方向性	<p>地震等による建築物の被害から市民を守るため、建築物の耐震性を向上させ、安全・安心な生活を確保することを目指します。</p> <p>今後も「苦小牧市耐震改修促進計画」に基づいて、公共、民間の建物の耐震化を進めます。</p>						

# 基本施策37 河川・海岸の保全と河川の環境整備

## 現況と課題

近年、多発する大雨により、道路冠水や浸水被害が発生しているほか、河川施設の老朽化が進行しているため、改修やしゅんせつなどによる流下能力の充実と保全が求められます。また、整備に当たっては地域の特性と自然との調和のとれた川づくりも必要となります。

さらに、高潮・波浪などによる侵食や浸水災害を防止するため、海岸保全対策が求められています。

## 基本目標

河川や排水路における治水機能の充実と、地域の特性をいかした水辺空間の創出と保全を図り、良好な河川の形成を目指します。

また、高潮・波浪などの浸水被害を防止するため、海岸保全対策の促進について関係機関との連携を図ります。

## 主要施策

### 1 河川・海岸の保全

SDGs  
17の目標



施策番号	二級河川や胆振海岸の整備促進を要望していきます。
2533711	

担当部・課	都市建設部 道路河川課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二級河川の整備促進、維持管理（重点要望事項）</li> <li>・胆振海岸保全施設整備事業の促進（重点要望事項）</li> </ul>
評価指標 (事業実績)	二級河川や胆振海岸の整備促進・維持管理は、苫小牧市が自ら事業主体となって整備などをすものではなく、整備促進などの要望を事業主体である国や北海道に対して行っていくものであり、評価指標を設定することができませんが、令和元年度の取組についても、引き続き本市における重点要望事項として国や北海道に要望しております。
今後の取組 の方向性	<p>二級河川については、市街地における豪雨に対する市民生活の安全確保につながるほか、適切な維持管理や環境整備を行うことで、市民の生活環境や景観が改善され、流下能力が確保されることから、北海道に対し、本市における重点要望事項として引き続き要望してまいります。</p> <p>胆振海岸については、海岸侵食を防止することで、市民生活の安全確保につながるほか、波の打上げや越波による振動・騒音などの軽減、市民の憩いの場となる海辺の環境を創出することから、国に対し、本市における重点要望事項として引き続き要望してまいります。</p>

# 1 河川・海岸の保全

SDGs  
17の目標



施策番号	市が管理する河川・排水路の改修やしゅんせつにより、流下能力の充実と保全を図ります。		
2533712			
担当部・課	都市建設部 道路河川課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した既設護岸の改良</li> <li>・河口部における侵食対策としての護岸整備</li> <li>・流下能力確保のための河道しゅんせつ</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	河川や排水路などの機能保全した河川数	本	5	5			
今後の取組の方向性	<p>河川管理施設の改良を行うことは、集中豪雨による河川被害などを防止・軽減し、市民の安全・安心な生活に寄与するものです。</p> <p>今後も引き続き護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力の確保に努めてまいります。</p>						

# 2 河川環境整備

SDGs  
17の目標



施策番号	地域の特性をいかした水辺空間の創出と保全を図ります。		
2533721			
担当部・課	都市建設部 道路河川課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散策路等の整備、改良</li> <li>・河道内の改良による景観の改善</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	河川環境を整備した河川数	本	2	2			
今後の取組の方向性	<p>河川環境の整備を行うことは、緑豊かな水辺空間の創出を図り、良好な住環境の形成に寄与するものです。</p> <p>今後も引き続き、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の自然環境を身近に感じる河川の整備に努めてまいります。</p>						

# 基本施策38 交通安全の推進

## 現況と課題

本市の交通事故発生状況は、事故発生件数、負傷者数は減少傾向となっておりますが、死者数においては、8人前後で増加と減少を繰り返す状況となっております。

更なる交通事故削減に向けた取組としては、道路交通環境の改善や自動車安全性能の向上などが期待されます。その一方で、交通モラルの低下などにより、交通弱者である子どもや高齢者が犠牲となる交通事故や、高齢化の進行に伴い、高齢運転者による交通事故の増加などが懸念されます。

## 基本目標

「交通事故のない安全で安心なまち とまこまい」の実現を目指し、地域に根ざした交通安全教育の充実と広報活動や交通安全施設の整備促進に努めます。

## 関連する個別計画

- 交通安全実施計画

## 主要施策

### 1 交通安全の教育の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	幼児から高齢者に至るまで、幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や体験会を開催し、交通安全ルール・マナーの向上に向けた教育を充実させます。
2533811	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<b>【交通安全教室の実施回数】</b> ・幼稚園・保育園 106回 ・小学校 149回 ・中学校 2回 ・老人クラブ 17回 ・町内会 11回 ・交通安全母の会 28回 ・その他 8回						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	交通安全教室実施回数	回	339	321			
	交通安全教室参加人数	人	23,227	22,208			
今後の取組の方向性	幼児から高齢者に至るまでの幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や、社会的問題となっている高齢運転者を対象とした運転技術や身体能力を確認していただくための自動車運転シミュレーターを活用した体験型の教室を開催し、交通ルールとマナーの向上に向けた教育の充実を図り、交通事故防止を図ります。						

## 1 交通安全の教育の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	参加型・体験型・実践型の教育方法により、関係機関や団体、地域社会及び家庭が連携をとりながら、地域ぐるみの活動を推進します。
2533812	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	各年齢層に応じた段階的かつ体系的な参加型、体験型、実践型の交通安全教室を市、町内会、交通安全母の会などと連携し、交通ルール・マナーの浸透を図りました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	交通安全教室実施回数	回	339	321			
	交通安全教室参加人数	人	23,227	22,208			
今後の取組の方向性	幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象とし、各年代別に応じた交通安全教室を地域や家庭と連携し、参加型、体験型、実践型の交通安全教室を実施し、交通事故防止を図ります。						

## 2 交通安全に関する普及啓発活動の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	市民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しいマナーを身に着けるために、関係機関・団体が連携して、市民運動としての交通安全運動を実施します。
2533821	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	幅広い年齢層に対し、市広報誌やホームページへの運動期間の掲載や期別運動において、街頭啓発により、市独自の交通安全のチラシを配布し、交通ルールとマナーの周知と向上を図り、また、セーフティコール（旗の波）などの、市民参加型の運動を実施しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	セーフティコール（旗の波）参加人数	人	1,995	2,170			
今後の取組の方向性	市民一人ひとりに交通安全の思想普及、浸透を図り、交通ルールと正しいマナーを身に付けるため、事前に運動の趣旨、期間、重点項目を広く周知し、市民参加の運動を展開することにより、交通事故撲滅を図ります。						

## 2 交通安全に関する普及啓発活動の推進

SDGs  
17の目標



施策番号	交通安全運動の実施に当たっては、事前に趣旨、期間重点項目を広く周知し、市民参加型・市民本位の運動を展開することにより、交通事故撲滅を目指します。
2533822	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	交通安全運動は、関係機関、関係団体との連携により実施しており、積極的な運動の参加を呼び掛けし、参加者の増加が図られました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	交通事故発生件数	件	430	402			
	セーフティコール（旗の波）参加人数	人	1,995	2,170			
今後の取組の方向性	市民一人ひとりに交通安全の思想の普及、浸透を図り、交通ルールと正しいマナーを身に付けるため、関係団体、関係機関と連携を緊密にし交通安全運動を実施し、事前に運動の趣旨、期間、重点目標を広く周知し、市民参加型の運動を展開することにより、交通事故撲滅を目指します。						

## 3 道路交通環境の整備促進

SDGs  
17の目標



施策番号	市民を事故から守るため、事故多発・危険箇所を点検し、交通安全施設などの整備に努めるとともに、信号機や一時停止等の規制標識設置について関係機関に要望します。
2533831	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	道路交通環境整備については、市民要望によるカーブミラーの設置や経年劣化によるスクールゾーン看板、横断歩道灯などの更新を計画的に進めています。 北海道公安委員会が設置を行う規制標識については、関係機関に要望しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	カーブミラー設置	基	1	1			
	スクールゾーン看板（大・小）	基	16	10			
	横断歩道灯更新	基	4	4			
今後の取組の方向性	市民を交通事故から守るため、事故多発地帯や危険箇所を点検し、交通安全施設整備に努めるほか、北海道公安委員会が設置する信号機や一時停止標識については、要望を継続していきます。						

# 基本施策39 防犯対策の推進

## 現況と課題

近年、本市における年間の犯罪認知件数は減少していますが、小学生や中学生を狙った声かけ事例や高齢者に対する詐欺行為など、犯罪の巧妙化、低年齢化が進み、依然大きな社会問題となっています。これらの背景には、都市化や核家族化の進展に伴う地域住民の連帯意識の希薄化などがあげられます。

平成27年（2015年）に「苫小牧市総合防犯計画」を策定し、市民や事業者が安心して暮らせる市民生活の確立を目指し、市民の自主的な防犯活動への支援や防犯に配慮した環境の整備などを進めています。今後も、地域と行政が一体となって犯罪予防対策を強化するとともに、地域における防犯意識の向上を図る必要があります。

## 基本目標

暴力や犯罪から守られて、安心して暮らせる市民生活の確立を目指し、家庭、地域、学校、関係機関や団体と行政が一体となって防犯に関する広報及び啓発活動や防犯活動を推進していきます。

## 関連する個別計画

- ・ 苫小牧市総合防犯計画

## 主要施策

### 1 犯罪予防対策の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	犯罪が起きにくいまちをつくるため、町内会などと連携を図り、防犯に配慮した環境の整備を推進します。また、再犯防止に向けた取組についても、国の再犯防止推進計画を踏まえ関係部局や関係機関と連携して進めます。
2533911	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	夜間における治安維持及び交通安全の確保等を図るため、生活道路や幹線道路の街路灯設置と整備等や町内会への補助を行いました。 再犯防止推進計画に基づき、国等から示される再犯の防止等の推進に向けた取組について、関係部局と情報の共有化を図りました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	街路灯設置補助数	基	21	33			
	街路灯設置	基	30	9			
	地域巡回防犯パトロール	回	17	15			
今後の取組の方向性	町内会等の要望に対応し、治安の維持や交通安全を確保し安全・安心な地域の環境整備に向け、継続的に支援します。 再犯防止推進計画に基づき、国等から提供される犯罪をした者等に必要な情報や知見等について、関係部局と共有し国の施策に対する理解・協力を促進します。						

# 1 犯罪予防対策の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	市民や事業者、関係機関と連携・協働し、広報及び啓発活動等による防犯に関する意識の高揚を図るとともに、地域の安全は地域で守るという観点から自主防犯組織等の活動を支援します。
2533912	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページに特殊詐欺や不審者等の犯罪情報を掲載 (随時)</li> <li>・広報とまこまいに防犯啓発記事を掲載 (毎月)</li> <li>・自主防犯組織の活動紹介記事等を掲載した防犯だよりを発行 (年6回)</li> <li>・市庁舎に防犯懸垂幕を掲出 (5種類)</li> <li>・自主防犯パトロール組織等に防犯パトロール用具を貸与 (青色回転灯3基・ドライブレコーダー22基ほか)</li> <li>・町内会等と地域の警戒箇所を防犯看板等を設置 (防犯のぼり75基・防犯看板10基)</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	犯罪認知件数	件	1,098	1,028			
今後の取組の方向性	<p>犯罪を未然に防ぎ、安全・安心な地域を実現するためには、市民等の防犯に関する意識の高揚が必要です。</p> <p>地域をよく知る自主防犯組織等に対して、防犯に関する情報を提供するとともに活動に必要な用具を貸与し、地域の安全を地域で守る活動を支援してまいります。</p>						

# 1 犯罪予防対策の強化

SDGs  
17の目標



施策番号	暴力や犯罪から守られて、安心して暮らせる市民生活の確立を進めるために、防犯協会や関係機関と連携の下、暴力追放運動を促進します。
2533913	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>暴力追放運動を促進するために、苫小牧地区暴力追放運動推進協議会及び苫小牧市防犯協会と連携して、歳末地域安全運動市民パレード等を実施しました。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	犯罪認知件数	件	1,098	1,028			
今後の取組の方向性	<p>暴力団を排除し、市民の安全な生活を確保して社会経済活動の健全な発展に資するために、引き続き、防犯協会や関係機関と連携して、各種暴力追放運動を促進します。</p>						

## 2 防犯体制の充実

SDGs  
17の目標



施策番号	居住地域が広域化する中、警察体制の充実とパトロール強化のため、地域と連携を図りながら警察署交番の増設等を関係機関に要請します。
2533921	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	ときわ・澄川地区への交番新設要望活動を、北海道警察本部及び苫小牧警察署に行いました。さらに、「国・道及び関係機関に対する重点要望事項」として関係機関に働き掛けました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	要望活動の実施	回	1	1			
今後の取組の方向性	地域と連携を図りながら、引き続き交番増設等の要望活動に取り組みます。						

# 基本施策40 消費生活の安定

## 現況と課題

市民の消費生活を取り巻く環境は、多種多様な商品やサービスの選択肢が広がり利便性が向上する一方で、取引方法が複雑化・多様化し、消費者の知識・経験不足につけ込まれた消費者被害が発生しています。今後も多様化やグローバル化が見込まれる消費生活に対応するため、必要な情報を的確に判断し、自ら行動できる消費者の育成や社会の形成を図り、安全・安心な生活必需品などの安定供給に努める必要があります。苦小牧市公設地方卸売市場を取り巻く環境については、少子高齢化時代を迎え、生活慣習の変化や流通の多様化などから取扱高の低迷が予想されるとともに、施設についても老朽化、狭あい化が進んでいます。将来を見据えた経営戦略的な視点から方向性を定め、必要な取組を検討し、実効性のある体制構築が求められています。

## 基本目標

安全・安心な消費生活を実現するために、消費者意識の向上と消費者の保護、生活必需品などの安定供給を図ります。また、苦小牧市公設地方卸売市場においては、北海道の地域拠点市場として将来を見据えた経営展望を策定・推進します。

## 関連する個別計画

- ・ 苦小牧市消費者教育推進計画
- ・ 苦小牧市公設地方卸売市場経営展望（策定予定）

## 主要施策

### 1 消費者意識の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	消費生活情報の提供に努めるとともに、消費生活展、消費生活講演会などを行い、消費者意識の向上を図ります。
2534011	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「くらしのニュース」の発行（毎月）：老人クラブ、民生委員児童委員協議会、希望町内会等に発送（1,710部）</li> <li>・ 「広報とまこまい」に消費者被害防止啓発文を掲載（毎月）</li> <li>・ 「消費者月間」での啓発（5月）：市内4か所で街頭啓発を実施し、市庁舎に懸垂幕を掲出</li> <li>・ 「消費生活展」の開催（11月）</li> <li>・ 「消費生活講演会」の開催（11月）：テーマ「インターネット（スマホやパソコン）の安全安心な利用を学ぶ」</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消費生活展来場者	人	709	835			
	消費生活講演会参加者	人	30	39			
今後の取組の方向性	市民が消費生活に係る情報を的確に判断していけるように消費生活情報の提供に努めるとともに、消費生活展、消費生活講演会などを継続し消費者意識の向上を図ります。						

# 1 消費者意識の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	消費者団体を育成強化し、自主的な活動を支援します。		
2534012			
担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	・ 苫小牧消費者協会への補助金支出						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	学習会やセミナー等の開催回数	回	10	11			
今後の取組の方向性	苫小牧消費者協会の事業は、消費者の利益保護と市民の消費生活の安定向上を図る目的で実施されており、消費者意識の高揚に効果があります。学習会やセミナーの開催などによる啓発等の活動を行っている苫小牧消費者協会の活動を支援します。						

# 1 消費者意識の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	消費者の自立を支援するために、消費者教育を推進します。		
2534013			
担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「消費生活講演会」の開催 (1回開催)</li> <li>・ 「消費生活パネル展」の開催 (1回開催)</li> <li>・ 「消費者被害防止講座 (出前講座)」の実施 (33回実施)</li> <li>・ 老人クラブのイベントでの啓発活動 (2回実施)</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消費者被害防止講座開催数・参加者数	回・人	22・726	33・1,009			
今後の取組の方向性	消費者の自立を支援するために、多様な機関、団体との連携を強化し消費者教育の担い手の育成を図りながら、ライフステージや場に応じた体系的な消費者教育を推進します。						

# 1 消費者意識の向上

SDGs  
17の目標



施策番号	省資源、省エネルギーの啓発に努めるとともに、リサイクルの促進を図ります。
2534014	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不用品ダイヤル交換市」の実施</li> <li>・「家庭の燃料等の消費節約実態調査」の実施</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	不用品ダイヤル交換市利用者件数	件	1,088	1,265			
今後の取組の方向性	<p>限りある資源の有効利用を図るため、4R（リフューズ⇒ごみ発生抑制、リデュース⇒ごみ排出抑制、リユース⇒再使用、リサイクル⇒再生利用）の普及を目指します。          「物を大切にし、物を生かす」ことを目的に、家庭で不用になった生活用品の有効利用を図っていきます。          家庭の燃料等の消費節約実態調査により、一般家庭での消費と省エネルギーについて把握し、調査票送付時には省エネルギーに関するチラシを同封し啓発に努めます。</p>						

# 2 消費者保護

SDGs  
17の目標




施策番号	多様化する消費生活相談に対応するために、消費者センターの相談体制の強化に努めます。
2534021	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

## 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者行政推進交付金による北海道からの補助金を活用し、消費生活相談員の研修参加を実施              研修場所：神奈川県相模原市（国民生活センター研修施設）4回・4人              札幌市 7回・7人 室蘭市 1回・1人              研修テーマ：「情報通信サービス関連の消費者トラブル」、「若者からの消費生活相談のため必要な法律知識」、「高齢者の消費者被害と消費者教育」、「賃貸借契約とは、原状回復に係る消費者トラブルと解決方法」など</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消費生活相談員研修参加支援	回	12	12			
今後の取組の方向性	<p>複雑・多様化している消費生活相談に対応していくため、消費者センター相談員のレベルアップを引き続き進めていきます。</p>						

## 2 消費者保護

SDGs  
17の目標



施策番号	悪質商法や不正金融などの消費者被害を防止するために、関係機関との連携を図ります。		
2534022			
担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>「苫小牧市消費者被害防止ネットワーク」を通じて構成団体と地域住民が連携し悪質商法の被害に遭わないための情報提供を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「消費者被害防止ネットワークニュース」の発行（年2回）</li> <li>・「くらしのニュース」への情報掲載（随時）</li> <li>・構成団体への電子メールを利用した情報提供（随時）</li> <li>・老人クラブのイベントでの啓発活動時に苫小牧警察署も参加（2回）</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	消費者被害防止ネットワーク構成団体数	団体	11	11			
今後の取組の方向性	<p>適宜構成団体の拡充を図り、「消費者被害防止ネットワーク」及び「くらしのニュース」の発行や啓発メール等により情報提供を行い関係機関との連携を図ります。また、関係機関も参加した啓発活動を様々な機会を通して進めていきます。</p>						

## 2 消費者保護

SDGs  
17の目標



施策番号	不正計量、不当表示による消費者の不利益を防止するために、商店や事業所に立入検査を実施し、計量管理の指導を強化します。		
2534023			
担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>正確な計量の実施や正確な計量器の使用が守られるように、台帳や器差について立入検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料油メーター（ガソリンスタンド5戸、灯油配達用タンクローリー41戸）</li> <li>・積算熱量計及び温水メーター（1戸）</li> <li>・商品量目試買検査（1戸）</li> <li>・商品量目（22戸）</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	立入検査事業所数	戸	70	70			
今後の取組の方向性	<p>今後も消費者の不利益を防止するために立入検査を実施し、計量管理の指導を実施していきます。</p>						

## 2 消費者保護

SDGs  
17の目標



施策番号	食料品の安全・安心に関する情報について、関係機関との連携を図り、市民周知に努めます。
2534024	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や道など関係機関からの情報について電子メール等で関係部署と連携</li> <li>・消費生活展において、出店団体が行う塩分・糖度検査についてチラシ等を使った周知や、「くらしのニュース」の紙面を使って消費者庁からの情報を市民に提供</li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	イベント等による情報の提供	回	3	2			
今後の取組の方向性	<p>今後も食料品の安全・安心に関する情報について関係機関との連携を図り、啓発チラシ等を活用し市民周知に努めて行きます。</p>						

## 3 生活必需品などの安定供給

SDGs  
17の目標



施策番号	生活必需品などの価格動向調査を行い、調査の結果を消費者に提供します。
2534031	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<p>市消費生活条例に基づき、生活必需品の価格動向調査を毎月11名の調査員がスーパーマーケット、ガソリンスタンド、燃料店で実施し、その結果を「くらしのニュース」やホームページで公表しています。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	「くらしのニュース」発行部数（毎月）	部	1,710	1,710			
今後の取組の方向性	<p>物価の安定は暮らしの安定と向上のために欠かせない条件です。引き続き市民生活に関連の深い生活必需品の価格動向や出回り状況の把握に努め、その結果を公表していきます。</p>						

### 3 生活必需品などの安定供給



施策番号	適正価格販売の指導など価格安定対策を関係機関に要請します。
2534032	

担当部・課	市民生活部 市民生活課	反映区分	E (反映区分の選択になじまないもの)
-------	-------------	------	------------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	令和元年度において要請事案はありませんでした。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	要請回数	回	0	0			
今後の取組の方向性	適正価格販売の指導などの必要時には関係機関に価格安定対策を要請していきます。						

### 3 生活必需品などの安定供給



施策番号	苦小牧市公設地方卸売市場の将来を見据えた経営戦略的な視点から、将来方向とそのために必要な創意工夫ある取組を検討し、実行に移すため、苦小牧市公設地方卸売市場経営展望を策定します。
2534033	

担当部・課	産業経済部 公設地方卸売市場	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	----------------	------	---------------------

#### 施策評価表

具体的な取組 (R1年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦小牧市公設地方卸売市場経営展望策定</li> <li>・ 市場使用料等の減額を実施 (市場の活性化を図るため)</li> <li>・ 整備計画に基づき施設整備の実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 水産棟 (西側) 屋根葺替事業</li> <li>② 水産棟衛生管理事業</li> </ul> </li> </ul>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	苦小牧市公設地方卸売市場経営展望	%	80	100 (策定)			
	市場使用料等の見直し (減額)		-	改定			
	施設整備	千円	-	18,108			
今後の取組の方向性	<p>苦小牧市公設地方卸売市場経営展望に基づき、具体的な施策を実施していきます。</p> <p><b>【主な実施内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理運営について民間活力導入 (青果部、水産物部/R3指定管理 花き部/R4民間移譲)</li> <li>・ 水産棟整備事業</li> <li>・ 青果棟整備事業</li> </ul>						